



音が楽しく?!

しんがぎーあしよんてい!!

入場
無料
手話通訳がいます

2017年3月19日(日) 午後1時~午後5時
せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
宮城県仙台市青葉区春日町 2-1 022-713-3171

出演アーティスト

橋田 正人
(パッカー)

森田 かずよ

笙 YUU



主催：とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI

仙台市市民協働事業提案制度「表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関する PR 事業」

TAP メインイベント TAD=TOGETHER ACTION DAY

障害のある人もない人も一緒に表現し楽しんできた TAP のエッセンスをパワーアップしたイベントです。

「文化の祭典」とも言われているオリンピック・パラリンピック。TAP そして TAD も 2020 年東京パラリンピックのそのムーブメントを意識した企画、内容にもなっています。障害のある人もない人も、市民誰もが気軽に参加でき楽しむことができるムーブメントを体感してください。是非とも多くの皆さんの参加をお待ちしています。

TAD プログラム

午後1時	開演 (午後12時30分開場)
午後1時5分	TAP 記録映像 上映
午後1時30分	パフォーマンス① 森田かずよ
午後1時50分	パフォーマンス② 笙 YUU
午後2時10分	森田かずよ+笙 YUU
午後2時30分	トークセッション
午後4時10分	パフォーマンス③ ベッカー ドラム・サークル
午後4時40分	フィナーレ
午後5時	終演

*出演順、タイムスケジュールなどの変更がある場合もありますので、ご了承ください。

●トークセッション

パネリスト：橋田正人（ベッカー）・森田かずよ・笙 YUU+高橋盛（父）

パネリストそれぞれの表現活動についての紹介。自分にとっての表現の意味。障害のある人たちの表現のユニークさとその可能性、その魅力を探ります。さらに障害の有無に関わらず生き生きと暮らせるまちづくりの手法としてのとっておきの音楽祭について、昨年、町田市で第1回を開催した橋田さん、音楽祭常連の笙 YUU さんとお父さんに語ってまいります。森田さんには、関西での障害のある人たちが関わるイベントについても紹介していただきます。

※内容が一部変更する場合があります。

トークセッションでは、要約筆記をスクリーンに投影します。

協力 NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台

●パフォーマンス

大阪からやって来る義足の女優でありダンサーとして知られている森田かずよさん、とっておきの音楽祭の代表的なミュージシャンである笙 YUU さん、障害があるゆえの表現、障害がなければできない表現をライブで感じてください。坂本龍一、浜田省吾、長渕剛、SMAP、嵐などのレコーディングやツアーにも参加している打楽器奏者ベッカーさんの楽しくて思わず笑ってしまうドラム・サークル。会場の皆さんも気軽に参加してください。

お問合せ

NPO法人とっておきの音楽祭
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 事務局

出演アーティストプロフィール



橋田 正人さん

ニックネーム=ベッカー

打楽器奏者、ファシリテーター、コミュニケーター、ドラムサークルファシリテーター協会理事長40年間に渡りレコーディングやプロデューサーとして活動。

打楽器が奏するリズムで、人と人とが笑顔になり、ココロがつながることに興味を持ちドラマティックなコミュニケーションツールとしてのドラムサークルの普及に力を注いでいる。2014年「とっておきの音楽祭 SENDAI」に参加、大きな感銘を受け2016年東京都町田市で「とっておきの音楽祭 in Machida」を開催、8会場、83参加バンド、600名を超える参加者を集めた。現在、第2回目の開催に向けて活動中。



森田 かずよさん

二分脊椎症・先天性奇形・側湾症を持って生まれる。18歳より表現の世界へ。表現の可能性を日々楽しく考えながら、義足の女優&ダンサーとして活動。

「Performance For All People.CONVEY」主宰。ダンススタジオ Pspot14を含めたNPOピーススポット・ワンフォーを運営。循環プロジェクト、奈良県障害者芸術祭ソロダンス「アルクアシタ」、ニットキャップシアター、ヨコハマパトラリエナーレ、ファウストの恋人、庭劇団ベニノ、SLOWMOVEMENT 他出演多数。子どもや障害のある人へのダンスワークショップ講師やコーディネーターも行う。第11回北九州&アジア全国洋舞コンクールバリアフリー部門チャレンジャー賞(1位)受賞。
公式サイト：http://www.convey-art.com/

撮影：齋藤陽道



笙 YUUさん

1300年の音色を今に伝えるー

13歳で笙を手手にして19年。県内を中心に北海道から沖縄、アメリカと国内外を問わず現在まで500回以上にのぼる演奏・講演活動を行っている。

ウィリアムズ症候群と言われ難病を抱えながら、自らのライフスタイルを模索しつつ研鑽を積み笙奏者への道を歩んでいる。宮中雅楽で奏される笙を独学により主旋律と伴奏を同時に奏する奏法を創作し、楽譜を見ず耳で音を拾い笙の出る音に変調し、主に雅楽曲、クラシック、ポピュラー、ジャズとジャンルを越え演奏している。2010年より、宮内庁楽師 松井北斗氏に師事し、古典雅楽の神髄をゼロから学習の最中でもあります。「心あたたくなる笙の音を世界へ」との念いを胸に世界の平和・平安を願いながら今日も笙を手手にしている。

2016年10月東京国際フォーラムで開催されたゴールドコンサート本戦に出場し楽曲賞を受賞した。オリジナルCDを5枚発表。1985年仙台市生まれ。



TOGETHER ACTION PROJECT=TAP

障害のある人もない人も気軽に参加し一緒に楽しめる表現ワークショップやオープンアトリエ、先進的な活動をしている方たちのトークセッションなど、交流や対話を行いながら障害理解の促進を図るプロジェクトです。去年12月16日には4人のDJによるダンスイベント DBB!(Dance Breaks Barriers!)、17日には表現ワークショップ(身体・リズム・ボイス)&トークセッションを開催し、多くの方に参加していただきました。今年1月20日から3月7日まで、オープンアトリエ、表現ワークショップを開催(スケジュール、内容はホームページをご覧ください)。みなさんの参加をお待ちしています。

とっておきの音楽祭 2017
6月4日(日) 第17回開催

障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで「心のバリアフリー」を目指すストリート音楽祭。合言葉は「みんなちがって みんないい」。去年開催の第16回では29ステージに340グループが出演しました。2001年に仙台で始まり、東北各地を始め安中市(群馬県)、町田市(東京都)、枚方市(大阪府)、篠山市(兵庫県)、熊本市、鹿児島市など全国18か所でも開催されています。

TAP 全イベントに手話通訳がいます。

この活動内容を多くの市民の皆さまに伝え、障害理解の促進を図るために記録映像を制作します。撮影をいたしますのでご了承ください。

TEL:022-265-0980 FAX:022-716-5717
info@totteokino-ongakusai.jp